

カンペはスケッチブックからデジタルへ デジタルカンペ【デジカン】発表 ～放送現場の働き方改革とペーパーレス化～

株式会社ステラリンク（本社：東京都千代田区 代表取締役社長：前田保宏 以下「当社」）は、株式会社テレビ朝日様ならびに株式会社テレビ朝日サービス様の多大なるご協力のもと新製品を開発、2020年2月1日より「デジカン」をリリースいたします。

1. 概要

- (ア) 現在、放送現場の収録や撮影の際使用するカンニングペーパーすなわちカンペはスケッチブックが思い浮かびますが、文字を書いたり印刷物を貼り付けるなどし、出演者へ指示を出す、残り時間を知らせるなどで進行をアシストする道具としています。
- (イ) 手書き、もしくは印刷物の用意や修正は時間がかかるうえに、使用順に並べるなどの整理も大変。終了後の紙ゴミも大量に発生します。
- (ウ) それらをデジタル化し、PCやタブレットで管理・表示し、様々な問題を一気に解決。デジタルのカンペ【デジカン】がスタジオワークに変革をもたらします。

2. 機能・特長

・カンペの準備をデジタルで効率化

デジタルデータで用意するため、以前使用したものを繰り返し利用したり、変更/修正、順番の入れ替えなど、事前準備や管理のための工数が激減します。

・表示はPC用モニターだけでなくタブレットやスマホへも

大きなモニターは勿論、タブレットやスマホへの表示も可能、出演者の手元や観覧者へのお知らせなどシーンに合わせた表示ができます。

・地球にやさしいペーパーレス

ペーパーレス化で資源節減の他、廃棄処分の手間や保管場所のスペース削減もできます。

・従来のスケッチブックの様に手書き入力も可能

タッチ対応の操作デバイスなら、手書き入力も可能。その場に応じた指示も出せます。



スケッチブックをめくる代わりに、[TAKE]ボタンを押すだけ

■株式会社テレビ朝日様から下記エンドースメントを頂きました。

株式会社テレビ朝日 技術局 設備センター
コンテンツ制作システムグループ 新井 はづき

株式会社ステラリンク様による Digital Kanpe「デジカン」のリリースを心より歓迎いたします。テレビ番組の制作において、フロアディレクターから出演者への指示出しにスケッチブックによるカンペを毎日使用しています。カンペの作成はアナログ的な物で、「手書き」、「印刷した紙をスケッチブックに貼り付ける」など結構な作業時間が必要です。働き方改革の一環で、少しでも人の作業が軽減できればと思いステラリンク様に相談し、「デジカン」のリリースへとつなげることができました。テレビ番組の制作現場にとってカンペは切り離せないものであり、また人件費、紙代などの費用が掛かるもので、「デジカン」はそういった問題を解決できるツールであり、我々にとってより一層の業務効率化に繋がる価値あるものになると確信しております。



【株式会社ステラリンクについて】

会社名：株式会社ステラリンク

代表者：代表取締役社長 前田 保宏

本社：〒102-0074 東京都千代田区九段南 4-7-19 ツボヤビル 3F

設立：2012年7月10日

資本金：6550万円

事業：システムインテグレーション事業、情報コミュニケーション事業

URL：ステラリンク 企業サイト <https://www.stellarlink.co.jp/>



< 本件に関するお問い合わせ先 >

株式会社ステラリンク コンタクト・センター

E-mail：stellar-info@stellarlink.co.jp

電話：03-6268-9570（平日 10:00～17:00）

※文中の会社名、製品名等は各社の商標または登録商標です。当社製品には他社の著作物が含まれていることがあります。